

自動タイプ 屋外設置型 (BL 認定品)

ガスふろ給湯器 取扱説明書

品 名 131-0001 型

型式名 GX-S245AW



このたびはガスふろ給湯器をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよく読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。
この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。
取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。

もくじ	ページ	お使用いただく前に
この製品の特長	1	
安全に正しくお使いいただくために	2	
この取扱説明書の表示について	2	
機器本体の表示について	2	
必ずお守りください	2	
各部の名称とはたらき	7	
ご利用前の準備	10	はじめて使うときには
機器の準備	10	
リモコンを「入」にする	10	
現在時刻を合わせる	10	
お湯を使うには	11	使い方
自動でおふろを沸かすには	13	
おふろ沸かしを途中で停止したいときは	14	
沸かし直しをするには	14	
ふろ温度・保温時間・ふろ水位をセットするには	15	
ふろ温度の設定	15	
保温時間の設定	16	
ふろ水位の設定	16	
チャイムや音声ガイドの音量を調節する	17	
おふろのお湯を熱くするには(追いだし)	18	
おふろのお湯をぬるくするには	19	
おふろのお湯をたししたいときには	20	
おふろが沸く時刻を予約するには	21	
予約を取消したいときは	22	
省電力機能について	23	
冬期の凍結予防をするには	24	長くお使いいただくために
点検のポイント・お手入れのしかた	27	
故障かな?と思ったら	29	
アフターサービスについて	32	
仕様一覧	33	

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先
別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

お願い ガスくさいときは、ガス栓を閉じ窓を全開にして、(火気に注意して)大阪ガスに連絡してください。

WK3035

この製品の特長

快適な「お湯のある暮らし」のための便利な機能を豊富に揃えました。どうぞお役立てください。

便利です!

- お風呂もシャワー・給湯も、これ1台でOK。
- スイッチオン!の簡単操作でお風呂が沸かせます。
(→P. 13 参照)
- 予約タイマー付きだから、忙しい方も好きなときにバスタイム。
(→P. 21 参照)



- 浴室から台所や他の部屋にいる人を呼び出すことができます。

浴室リモコンの呼び出しスイッチを押す



快適です!

- お風呂のお湯の温度を自動的に保温します。いつも快適なお風呂です。
(→P. 15 参照)



環境にもやさしい!

- リモコンは待機時の消費電力を低減するため、未使用時に画面表示を消す、省電力機能付きです。
(→P. 23 参照)
- 熱効率が約95%と高いので、ガスをより効果的に使え環境面でもCO₂削減に貢献します。

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について■

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

⚠ 危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示については次のような意味があります。



一般的な禁止



火気厳禁



接触禁止



分解禁止



必ず行う



電源プラグを抜く



アースを接続せよ

お願い

ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P. XX 参照) 参照ページを示しています。

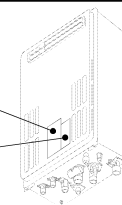
■機器本体の表示について■

使用上の注意

- 使用上の注意について表示しています。

銘板

- 品名・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。



必ずお守りください (安全上の注意)

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

⚠ 危険

屋内設置の禁止

- この機器は屋外設置形ですので絶対に屋内に設置しない。燃焼ガスが室内に充満したり正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因になります。

ガス漏れ時の処置

- ガス漏れに気づいたときは、機器の使用を中止し、ガスを閉じてからお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスに連絡する。
①給湯栓を全て閉じる。
②ガス栓を閉じる。
- すべての処置が終わるまでの間絶対に火をつけたり電気器具(換気扇その他)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない。炎や火花で引火し火災のおそれがあります。



火気厳禁



必ずお守りください

警告

機器設置（および付帯工事）

- この機器は屋外設置形ですので、増改築などによって屋内状態にしない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止



- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

囲い禁止

- 設置後、機器や排気口を波板やビニールなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

給排気口の周囲

- 給排気口の前方にものを置かない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

ガス接続について

- この機器のガス管の接続はねじ接続です。接続は配管技能者が行いますので、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

機器本体に無理な力を加えない

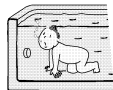
- 機器本体やガスの接続部などに乗らない。けがや機器の変形による故障のおそれがあります。

地震・火災などの緊急時の場合

- 迅速に使用を中止し、ガス栓を閉じる。

お子様には十分な注意を

- 浴槽の循環口の付近で湯（水）に潜ったりしない。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。思わぬ事故につながる場合があります。



- 浴槽にお湯張りしているときや沸かしているときに、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる場合があります。

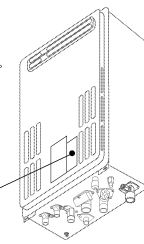
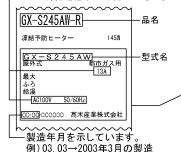


使用ガス、使用電源の確認

- 機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）で機器を使用してください。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。
- 転居時の注意は（→P. 32 参照）

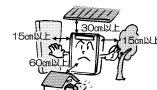


●この機種はAC100V50/60Hz共用です。
(例：都市ガス13Aの場合)
この部分を必ずご確認ください。



火災予防のために必ず守ることを

機器周辺のものは常に図の離隔距離を確保する。



- 機器および排気口の周辺には紙や木材など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器の周辺ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火性危険物を使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。
- 排気口は洗濯物などでおおわない。不完全燃焼の原因となります。



禁止



分解禁止

分解禁止

- お客様自身では絶対に分解したり修理・改造は行わない。異常作動して事故の原因となります。

異常時の処置について

- ①給湯栓を開けても点火しない場合、また、使用中で火が消える場合は、ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
- ②本書の「故障かな?と思ったら」（29～31ページ）に従って処置をする。
- ③上記の処置をしても直らない場合、または、使用中に異常な燃焼や臭気、異常音、異常な温度を感じた場合は、使用を中止してお買い上げの販売店または最寄りの大阪ガスへ連絡する。



給湯栓・ガス栓を閉じる

機器本体でのやけどに注意

- 機器の使用中止または使用後しばらくは、排気口とその周辺部に絶対に手を触れない。高温になっていますのでやけどのおそれがあります。



接触禁止

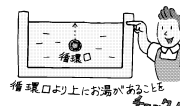
注意

用途についての注意

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面などへの給湯、お風呂沸かし以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる場合があります。
- 車両・船舶への搭載はしない。振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因になります。

空だき防止

- 追いだしスイッチを押すときは、必ず浴槽の循環口より上に湯（水）が入っていることを確かめる。
水位が循環口より低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となることがあります。



ソーラー機器について

- ソーラー機器とは絶対に接続しない。夏期にソーラーの水温が高くなるとお湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどをしたり機器の故障原因になります。



禁止

給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

- ①シャワーなどお湯を使う場合は最初に熱いお湯が出るがあるので注意する。手のひらで温度確かめて湯温が安定してからお使いください。
- ②給湯使用時は出湯管（蛇口）が熱くなるので、やけどに注意する。
- ③お湯を止めた後に再使用するとき、お湯の量を急に少なくしたとき、給水圧が下がったとき、あるいは、万一機器が故障した場合には、一瞬熱いお湯が出ることもある。手のひらで温度確かめて湯温が安定してからお使いください。
- ④シャワー・給湯使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯や冷水が出て思わぬ事故につながる場合があります。
- ⑤浴槽に入るときは、手で湯の温度を確認して入浴する。また、浴槽中のお湯は上下に温度差があることがありますのでご注意ください。
- ⑥お風呂沸かし（沸かし直し）や追いだし時には、循環口アダプター付近は熱くなることがあるので注意する。



手で温度を確認



電気事故防止

- 電源コードを加工したり無理な力を加えない。感電、ショートや発火による火災のおそれがあります。
- 傷んだプラグ、コードは使わない。差込みかゆると感電や火災の原因になります。
- 電源プラグのほこりは、拭き取る。発火の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグをさわない。感電のおそれがあります。
- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や発火の原因になります。
- この機器は接地工事（アース）が必要なので、アースがされているか確認する。



禁止



アースを接続せよ

長期間使用しない場合

- 長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じてください。

本体周辺の防火措置

- 本体の周辺は整然としてください。

お使いいただく前に

必ずお守りください

お願い

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
 - 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
 - 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。
 - やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をお勧めします。
 - 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。
- リモコンの扱いについて
- 台所リモコンには水をかけないでください。
 - 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。スピーカー部に水がかかると音声小さくなる場合があります。
 - リモコンはお子様がいっぱいしないよう注意してください。



禁止

断水のとき

- 断水のときは、給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを切ってください。

電源プラグを抜かない

- お手入れの際、水抜きを行い長期間使用しない場合、および凍結防止のため水抜きを行うとき以外は電源プラグを抜かないでください。

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたらずみやかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
- 30分以上電源プラグをコンセントから抜いた場合は、リモコンの各設定（給湯温度・ふろ温度・ふろ水位・現在時刻・予約時刻等）を行い、表示を確認したのちご使用ください。



電源プラグを抜く

雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

5

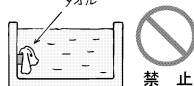
飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たった水（たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで）は、飲まないで雑用水としてお使いください。



入浴時の注意

- 循環口を外して、お子様やおモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
- 浴槽の循環口をタオルなどでふさがないでください。循環不良によりおふろ沸かしができなくなったり、機器の故障原因になります。



凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、この取扱説明書のP. 24「冬期の凍結予防をするには」に従って処置してください。おこたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。

凍結したとき

- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 機器や配管が損傷した場合、高額な修理費がかかります（有料）。
- 凍結がとけたあと再使用するときは、すべての給湯栓から水が出ることを確認し、機器および配管から水漏れがないことを確認後、P. 25「再使用する時」の項以下の操作を行ってください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉じてください。



給湯栓を閉じる

- 再通電したときは、リモコンの設定（給湯温度・ふろ温度・ふろ水位・現在時刻・予約時刻等）を行い、表示を確認したあとご使用ください。
- 30分以上の停電のときは、リモコンの再設定が必要です。
- 自動でおふろを沸かしているときに、停電になると、ふろ自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。通電後、再度、運転スイッチを押し、ふろ自動スイッチを押してください。（→P. 13参照）

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使い方をされると機器の寿命を著しく短めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。
- 日常の点検・お手入れ
- 安全にお使いいただくために、点検、お手入れは月1回程度必ず行ってください（詳しくはP. 27をご覧ください）。
 - 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
 - 循環口フィルターはこまめに掃除してください。浴槽内の循環口フィルターがつまると、浴槽の湯温が不均一になったり、沸き上がる前に消火することがあります。
 - 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分（湯アカ）により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをすることと、万々着色した場合はクレンザーやアンモニア水（10%程度）等で拭き取ってください。
 - 排水配管の先からスムーズに排水されるか点検してください。ゴミ等によって閉鎖されている場合は掃除を行ってください。

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示で確認してください。

乾電池に関するご注意

- 乾電池を使用しているガス機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は必ず乾電池を取り外してください。そのまましておきますと、思わぬ事故になることがあります。

お願い 設置する場所や状況について

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（燃焼音、燃焼用送風機、ポンプ回転音）で迷惑にならない場所に設置してください（工事担当者にご相談ください）。
- 足場などを組んだり、ハンゴ、脚立を使わずにはばメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。

排気ガス

- 排気ガスが直接建物の外壁やアルミサッシなどに当たらないよう施工してください。外壁が変色したりアルミサッシが腐食したりするおそれがあります。
- 排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの（危険物・植物・ペットなど）を置かないでください。（寒い日は排気ガスが白い煙のように見えることがあります）

ほこり

- 砂や油煙、ペットの毛など、ほこりのたやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口をふさいで、燃焼用の送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

入浴剤や洗剤についての注意

- 強酸、強アルカリの洗剤および、硫黄、酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確認し機器への悪影響がないものをご使用ください。
- ふろ用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、フィルターやお湯の通路にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音を発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
- 薬草やゆず入り入浴剤の場合は、薬草などがフィルターや機器内部につまることがありますので、ご使用を避けてください。



禁止



通水使用の禁止

- 運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器の寿命を短くします。

長期間使用しないときは

- この取扱説明書P. 25の「機器の水を抜く方法」に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。



給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。（ただし、排水配管は除きます）

地下水や温泉水、井戸水の注意

- この機器は上水道用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着するなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

塩害

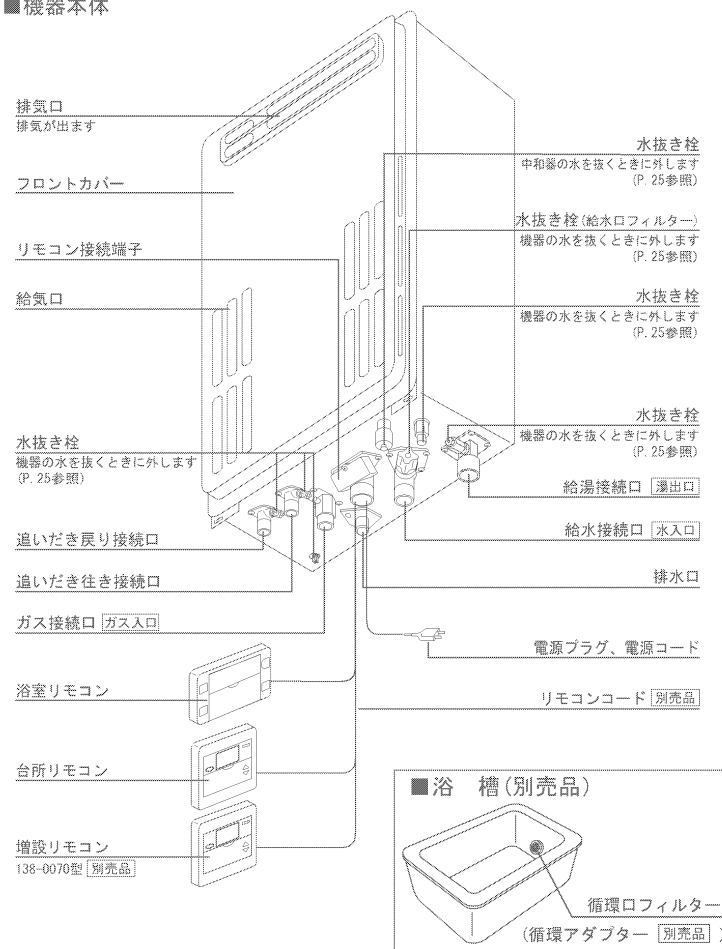
- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

お使いいただく前に

6

各部の名称とはたらき

■機器本体



この機器の各部の名称とはたらきをご紹介します。

■浴室リモコン (浴室に取付けます)

給湯やおふろ沸かしなど、すべての操作を浴室リモコンで行います。
通常はふたを閉じておいてください。

ふろ自動スイッチ

設定した温度・水位で自動的に
おふろを沸かします。
(→P. 13参照)

ふろ自動ランプ

ふろ自動運転中、沸き上
げ中は赤、保温中は緑で
点灯します。

追いだきランプ

追いだき中に緑で点灯
します。

追いだきスイッチ

おふろがぬるくて熱くしたい
ときに押します。
(→P. 18参照)

運転スイッチ

操作するとき最初に「入」にします。
(→P. 10参照)

スピーカー

設定の状態や注意事項
などを警告音や音声で
お知らせします。

呼び出しランプ

呼び出し中に緑で点灯
します。

呼び出しスイッチ

浴室外にある台所リモコン等に
呼び出しチャイムと呼び出し
音声ガイドが流れます。

浴室リモコンのふたを開けると、以下のようなスイッチがあります。

ぬるくボタン

熱いおふろをぬるくするときに押します。(→P. 18参照)

たし湯ボタン

おふろのお湯を増やしたいときに押します。
(→P. 20参照)

優先ボタン

給湯温度調節の優先を、台所リモコン
または浴室リモコンに切替えるときに
押します。(→P. 12参照)

上・下ボタン

ふろ温度・保温時間、ふ
ろ水位・現在時刻・音量
・予約時刻の調節をする
ときに押します。

設定ボタン

保温時間・ふろ水位・現在時刻・音量の
設定を切替えるときに押します。また、
スイッチを長押しすると省電力モードに
なります。

ふろ予約ボタン

おふろ沸かしの予約をしたいときに
押します。
(→P. 21参照)

給湯温度ボタン

給湯温度の調節をする
ときに押します。



給湯燃焼表示・ふろ燃焼表示は左右に動いて、燃焼していることをお知らせします。

給湯燃焼表示・ふろ燃焼表示の補足説明



燃焼中は左右に動きます。

お使いいただく前に

各部の名称とはたらき

■浴室リモコンの画面表示

浴室リモコンの画面表示には以下のようなものがあり、設定した内容を確認することが出来ます。
※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

保温時間 おふろの設定保温時間を表示します。	予約時刻表示 おふろが沸く時刻を表示します。	給湯温度表示 給湯の設定温度を℃で表示します。
ふろ温度表示 おふろの沸き上げ設定温度を℃で表示します。	現在時刻表示 現在時刻を表示します。	給湯燃焼表示 給湯燃焼中に表示します。
ふろ燃焼表示 ふろ燃焼中に表示します。	省電力ランプ 省電力機能の動作中に点灯します。	優先表示 浴室リモコンに優先があるとき表示します。
たし湯表示 たし湯運転中に表示します。	ふろ水位表示 おふろの設定水位を表示します。	予約表示 予約スイッチが「入」のとき表示します。
ぬるく表示 ぬるく運転中に表示します。		

■台所リモコン

台所に設置して使用します。
給湯温度の設定や、ふろ沸かしの自動運転、予約運転などの操作が出来ます。
※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

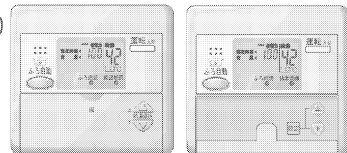
現在時刻表示 現在時刻を表示します。	省電力表示 省電力機能の動作中に表示します。
予約時刻表示 おふろが沸く時刻を表示します。	給湯温度表示 給湯の設定温度を℃で表示します。
スピーカー 設定の状態や注意事項などを警告音や音声でお知らせします。	運転スイッチ 操作するとき最初に「入」にします。 (→P. 10参照)
予約表示 予約スイッチが「入」のとき表示します。	優先表示 台所リモコンに優先があるとき表示します。
ふろ自動スイッチ ふろ自動運転をするときに押します。 (→P. 13参照)	給湯温度ボタン 給湯温度の調節をするときに押します。
ふろ燃焼ランプ ふろ燃焼中に点灯します。	給湯燃焼ランプ 給湯燃焼中に点灯します。

台所リモコンのふたを開けると、以下のようなスイッチがあります。

ふろ予約ボタン おふろ沸かしの予約をしたいときに押します。(→P. 21参照)	上・下ボタン 予約時刻・現在時刻・音量の調節をするときに押します。 ※そのまま押すと、給湯温度の調節ができます。
設定ボタン 現在時刻・音量の設定を切替えるときに押します。	

■増設リモコン 138-0070型 (別売品)

浴室や台所以外の部屋から、運転スイッチの「入」/「切」、給湯温度調節、自動運転が操作できます。
各部のはたらきや使い方は台所リモコンと同じですが、ふろ予約運転は操作できません。



ご利用前の準備

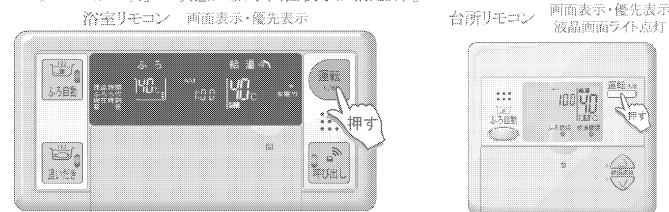
はじめてお使いになるときは、まず屋外にある機器の準備をします。以下のような手順で準備ができれば、リモコンのスイッチを入れてみましょう。

■機器の準備

- 1 機器や機器周辺の点検・確認を行います。
(→P. 27参照)
- 2 給水元栓を全開にします。
機器の下部にあります。
- 3 給湯栓を開け、水が出ることを確認したら閉じます。
- 4 ガス栓を全開にします。
機器の下部にあります。
- 5 電源プラグをコンセントに差し込みます。
コンセントは機器周辺にあります。

■リモコンを「入」にする ※電源投入後、リモコンが表示するまで多少時間が分かかります。

- 1 浴室リモコンまたは台所リモコンの運転スイッチを押します。
リモコンの画面に図のような液晶表示がされます。
運転スイッチを押したリモコンには、優先表示が表示されます。
ふろ、給湯を使わないときは、運転スイッチをもう一度押します。
リモコンが「切」の状態になり、画面表示が消えます。



■現在時刻を合わせる

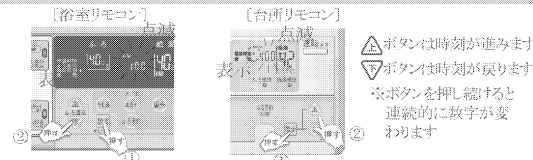
※現在時刻合わせは、いずれかひとつのリモコンで操作します。

1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開けます 設定ボタンを押し現在時刻を設定します



設定ボタンを押し、△を現在時刻の右側に表示させ、現在時刻表示が点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。
“現在時刻です。上下ボタンで入力してください”
△または▽ボタンを現在時刻表示が点滅している間(約10秒間)に押してください。再度設定ボタンを押すか、5秒以上何もスイッチやボタンを押さないでいると確定となります。音声ガイドが流れます。
“現在時刻、セットされました”

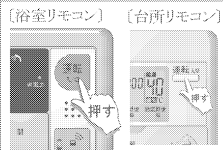
- 出荷時の時刻表示は「AM1:00」になっています。
- AM(午前)・PM(午後)に注意してください。
- 設定時に△または▽ボタンを押さないでいると約10秒後に確定となりますが、音声ガイドは流れません。
- 初回の時刻合わせは、設定ボタンを1回押せば時刻合わせが出来ます。その後時刻を直したい場合は、浴室リモコンは設定ボタンを3回台所リモコンは1回押してください。

お使いいただく前には
はじめて使うときには

お湯を使うには

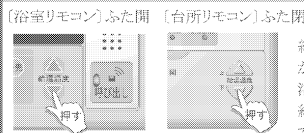
工場出荷時には40℃の設定になっています。

1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 給湯温度を調節します



給湯温度を調節するリモコンに優先が表示されていることを確認します。浴室リモコンはふたを開けます。給湯温度△または▽ボタンを押してお好みの温度に設定します。

△ボタンは給湯温度が1段階ごと上がります。
▽ボタンは給湯温度が1段階ごと下がります。

給湯温度は以下の14段階で設定できます。

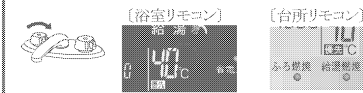
37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 50 55 60℃

3 給湯栓を開けます



浴室リモコンでは給湯燃焼表示^①が表示します。台所リモコンでは給湯燃焼ランプが点灯します。

4 給湯栓を閉じます



浴室リモコンでは給湯燃焼表示^①が消えます。台所リモコンでは給湯燃焼ランプが消灯します。ただし、他の給湯栓が使用中のときや、ふろ自動運転のお湯張り中は消えません。

お湯を使うときの注意

- ⚠ 警告**
- 給湯、シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度確かめながら使う。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。
 - シャワー使用中に優先を切替えない。台所リモコンで給湯温度調節を行うと、シャワーの温度が急変し、危険です。必ず、浴室リモコンを優先にして、給湯温度を確認してから使用してください。

❗ ご注意ください

- 給湯栓を閉じても機器の燃焼用ファンがしばらく回転しますが、故障ではありません。

※ お願い

- 表示している温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。
- 使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません（配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります）。
- 給湯栓をしばらく過ぎると、熱いお湯が出たり、燃焼が停止して水になることがあります。
- 水温が30℃近くになる夏期では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少なく給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を多くするか、水と混合してお使いください。
- ふろ自動運転のお湯張り中のシャワーはふろ設定温度で出湯されます。お湯張りが終了したあとは給湯の設定温度に戻ります。
- お湯使用中に、ふろ自動・たし湯運転をするとお湯の量が減る場合がありますが故障ではありません。
- この機器は熱効率が高いため、給湯器の排気口から白い湯気が出やすくなっています。

お風呂のシャワーや上がり湯のほか、台所や洗面所などで使う給湯の操作について説明します。給湯は、浴室リモコン、台所リモコン、また増設リモコンのいずれからでも操作できます。

給湯温度を調節するときの注意

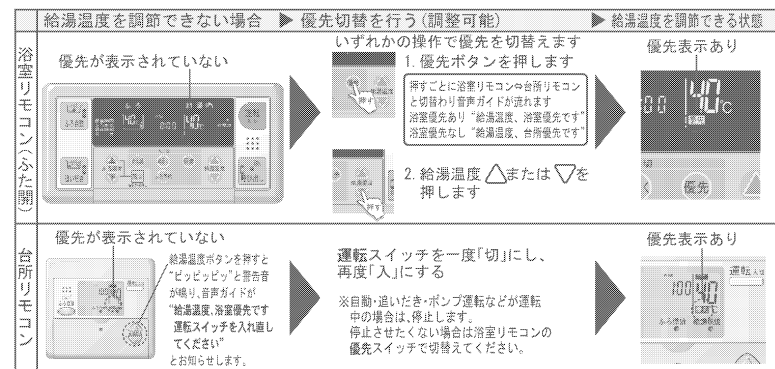
❗ ご注意ください

- 50℃、55℃、60℃に給湯温度を設定するとチャイムが鳴り、音声ガイドが“熱い温度にセットされました。注意してください”とお知らせします。

※ お願い

- ふろ自動運転のお湯張り中（追いだき中）、たし湯、ぬるく運転中は、台所リモコンの給湯温度△または▽ボタンや、浴室リモコンの給湯温度△または▽ボタンを押すと“ビッピッピ”と警告音が鳴り給湯温度の設定はできません。
- 55℃以下の温度でシャワーや給湯を使っているときは、やけど防止のため60℃には設定変更ができません。60℃に設定しようすると“ビッピッピ”と警告音が鳴って受け付けません。設定したいときは、いったん出湯を止めてから行ってください。また、設定するときは他の場所で給湯が使われていないか、よくご確認ください。
- 通常、給湯温度は運転スイッチを「切」にしても記憶されていますが、給湯温度を60℃に設定したときはやけど等の危険防止のため、再度運転スイッチを入れたとき自動的に55℃にセットされます。
- はじめてお使いのときや停電時、電源プラグを抜いた場合など、30分以上通電が止まって再通電したときは、給湯温度表示が40℃になります。再度セットし直してください。

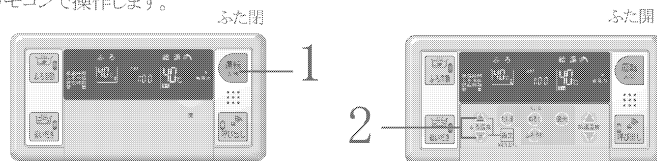
■優先切替について 給湯温度が調節できるリモコンを「優先」と呼び、リモコンのどちらか一方を優先にできます。また、優先を切替えることを「優先切替」といいます。



- 給湯優先切替時には、55℃より高い設定温度にはなりません。優先を切替えたとき、切替え前の給湯温度が60℃だった場合、自動的に55℃にセットされます。
- 浴室リモコン・台所リモコンの給湯優先切替時には、設定温度が50℃以上の場合“熱い温度にセットされました。注意してください”とお知らせします。音声ガイドのスイッチやボタンを押すと、とまります。
- 別売の増設リモコン（138-0700 壁）を設置している場合。
 - ・台所リモコンが優先のときは、増設リモコンも優先があります。
 - ・増設リモコンと台所リモコンは連動しています。増設リモコンの運転スイッチを「入」にすると、増設リモコンと台所リモコンに優先表示点灯し、増設リモコンでも給湯温度を設定できます。給湯温度は設定したリモコン側の温度になります。

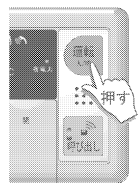
ふろ温度・保温時間・ふろ水位をセットするには

浴室リモコンで操作します。



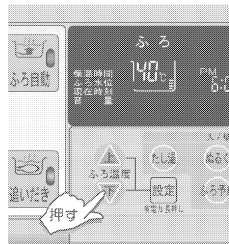
ふろ温度の設定 工場出荷時には40℃に設定されています。

1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開けふろ温度を設定します



ふろ温度 Δ または ∇ ボタンを押して好みの温度に設定します。
 Δ ボタンは温度が上がります。
 ∇ ボタンは温度が下がります。

ふろ温度は以下の12段階で設定できます。

37 38 39 40 41 42
43 44 45 46 47 48℃

ご使用の目安

ぬるい	標準	あつい
37℃～39℃	40℃～42℃	43℃～48℃

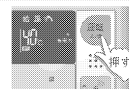
- 浴槽の種類や施工条件によって、水位を高めにセットするとあふれる場合があります。最初は、工場出荷時の設定で試して、そのときの実際の水位を確認してからお好みの水位に調節することをお勧めします。
- 表示される温度と水位は、実際とは多少異なる場合があります。表示は目安としてお考えください。
- 設定は記憶されるので、次回からはセットする必要はありません。ただし、電源プラグを抜いたり停電などによって30分以上通電がない場合は、再セットが必要です。
- 保温時間・ふろ水位の設定時に Δ または ∇ ボタンを押さないで約10秒後に確定となりますが、音声ガイドがありません。
- 設定ボタンを順に押して「保温時間」「ふろ水位」「現在時刻」「音量」を続けてセットすることもできます。セットすると音声ガイドが「保温時間、ふろ水位、現在時刻、音量セットされました」と設定した項目についてお知らせします。
- 上記のように続けてセットする場合、設定ボタンは以下のように操作します。

設定ボタン → 1回押す → 2回目 → 3回目 → 4回目
 保温時間 保温時間 保温時間 保温時間
 保温時間 保温時間 保温時間 保温時間

- 保温中でもふろ温度の設定を変更することができます。

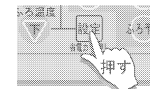
保温時間の設定 工場出荷時には4時間に設定されています。

1 運転スイッチ「入」を確認します



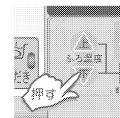
「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け設定ボタンを押します



設定ボタンを押し、 Δ を保温時間の右側に表示させ、保温時間表示が点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。
 “保温時間です 上下ボタンで入力してください”

3 保温時間を設定します



Δ または ∇ ボタンを保温時間表示が点滅している間（約10秒間）に押してください。

Δ ボタンは保温時間が長くなります。

∇ ボタンは保温時間が短くなります。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 (時間)

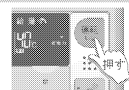
※保温しない場合は、“0”に設定してください。

再度設定ボタンを押すか、5秒以上何もスイッチやボタンを押さないでいると確定となります。音声ガイドが流れます。

“保温時間、セットされました”

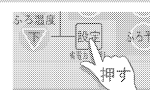
ふろ水位の設定 工場出荷時には水位バー4（およそ180ℓ）に設定されています。

1 運転スイッチ「入」を確認します



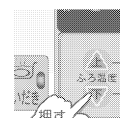
「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け設定ボタンを押します



設定ボタンを押し、 Δ をふろ水位の右側に表示させ、水位バーが点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。
 “ふろ水位です 上下ボタンで入力してください”

3 ふろ水位を設定します



Δ または ∇ ボタンを水位バーが点滅している間（約10秒間）に押してください。

Δ ボタンは水位バーが増え水位が高くなります。

∇ ボタンは水位バーが減り水位が低くなります。

(水位につきましては下記水位表示をご参照ください)

再度設定ボタンを押すか、5秒以上何もスイッチやボタンを押さないでいると確定となります。

音声ガイドが流れます。

“ふろ水位、セットされました”

水位表示

水位バー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ふろ水位(およそℓ)	50	140	160	180	200	220	240	260	300	400	500

使い方

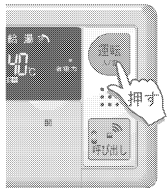
チャイムや音声ガイドの音量を調節する

音量の設定

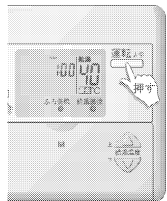
工場出荷時には3 (大) に設定されています。

1 運転スイッチ「入」を確認します

〔浴室リモコン〕



〔台所リモコン〕



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け設定ボタンを押します

〔浴室リモコン〕



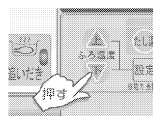
〔台所リモコン〕



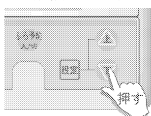
設定ボタンを押し、 を音量の右側に表示させ、音量表示が点滅していることを確認します。
音声ガイドが流れます。
“音量です 上下ボタンで入力してください”

3 音量を設定します

〔浴室リモコン〕



〔台所リモコン〕



または ボタンを音量表示が点滅している間 (約10秒間) に押してください。

ボタンは音量が大きくなります。(最大音量は“3”)

ボタンは音量が小さくなります。(最小音量は“0無音”)

0 (無音) ⇄ 1 (小) ⇄ 2 (中) ⇄ 3 (大)

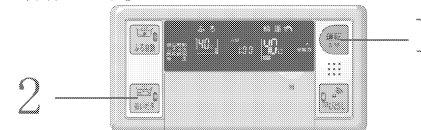
再度設定ボタンを押すか、5秒以上何もスイッチやボタンを押さないでいると確定となります。音声ガイドが流れます。
“音量、セットされました”



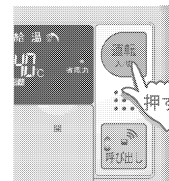
- 設定した音量は、運転スイッチを「切」にしても記憶されています。
- 設定時に または ボタンを押さないでいると約10秒に確定となりますが、音声ガイドが流れません。
- 音量を無音に設定すると音声ガイドが流れません。ただし、浴室リモコンで呼び出しスイッチが押されたときには台所リモコンから呼び出し音声ガイドが流れます。
- 台所リモコンへの呼び出し音声の音量、スイッチやボタン操作時の“ピッ”という音、警告音“ピッピッピッ”の音は調節できません。

お風呂のお湯を熱くするには (追いだき)

浴槽のお湯がめるくなったら、熱くすることができます。この機能を「追いだき」といいます。
浴室リモコンで操作します。

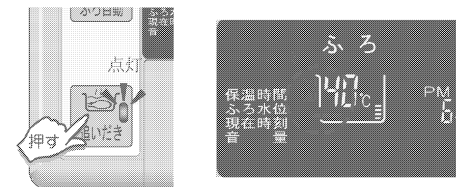


1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 追いだきスイッチを押します



追いだきランプ (燈) が点灯します。

としびらくして、ふろ燃焼表示 が表示され追いだきを開始します。

は以下の表示を繰り返します。

→ → → 消灯 →

運転が終了すると追いだきランプが消え、ふろ燃焼表示 も消えます。

追いだき運転中に停止させるには

もう一度、追いだきスイッチを押します。

追いだきランプとふろ燃焼表示 が消灯して、追いだきが停止します。



● 追いだきの操作をするときには、浴槽の循環口より上に湯 (水) があることを確認する。



● 追いだきスイッチは長く (5秒以上) 押さないでください。入浴中に追いだきスイッチを5秒以上押し続けると長期間使用しない場合の機器の水を抜くための状態となります。浴室リモコンに「032」が点滅し、運転を停止します。誤って押し続けた場合は運転スイッチを「切」にして、3秒以上経過してから再度「入」にしてください。

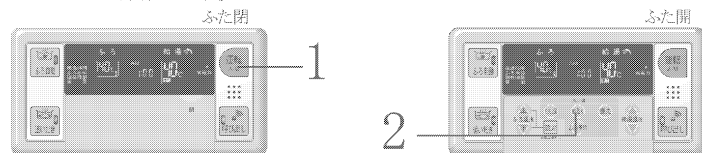
● 表示されているふろ温度と浴槽内の温度は、配管の長さや外気温によって異なることがあります。目安としてお使いください。



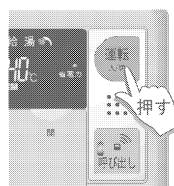
- 追いだきで停止の操作をしない場合は、現在温度 + 2℃で沸き上げて自動的に停止します。ただし、沸き上げた温度 (現在温度 + 2℃) が設定温度に達しない場合は設定ふろ温度まで沸き上げて自動的に停止します。
- 一度、追いだきをして自動停止し、もっと熱くしたいときは、もう一度追いだきスイッチを押してください。お好みの湯かきずんになったら、追いだきスイッチを押して停止してください。
- ふろ自動運転のお湯張り中 (追いだき中) は、追いだきスイッチを使用できません。押すと“ピッピッピッ”と警告音が鳴ります。

お風呂のお湯をぬるくするには

浴槽のお湯が熱くてぬるくしたい場合は、「ぬるく運転」が便利です。この機能では、自動的に水（約12ℓ）を入れて、かくはんを行います。浴室リモコンで操作します。



1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開けぬるくボタンを押します

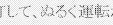


ぬるくが表示されます。
しばらくして、が表示されぬるく運転を開始します。
約12ℓの水を入れて、かくはんしてから自動停止します。

は以下の表示を繰り返します。
 →  → 消灯 →

運転が終了するとぬるく表示が消え、も消えます。

ぬるく運転中に停止させるには

もう一度、ぬるくボタンを押します。
ぬるく表示とが消灯して、ぬるく運転が停止します。

！ご注意ください

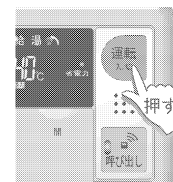
- ぬるく運転中に給湯栓（シャワーを含む）を開けると水が出ます。このとき、給湯燃焼はしません。
- ぬるく運転では自動的に約12ℓの水を入れます。途中で湯がぜんを確かめてください。
- もっとぬるくしたいときは、もう一度ぬるくボタンを押してください。
- ふろ自動運転のお湯張り中（追いだき中）はぬるくボタンを使用できません。ボタンを押すと“ピーッ”と警告音が鳴ります。“給湯燃焼表示またはふろ燃焼表示が消えてからぬるくボタンを押してください。また、お湯の使用中でもぬるくボタンを使用できません。

お風呂のお湯をたししたいときには

浴槽のお湯の量をたししたいときには、「たし湯運転」があります。この機能では、自動的に「ふろ温度」設定のお湯を約24ℓ入れて、かくはんを行います。浴室リモコンで操作します。

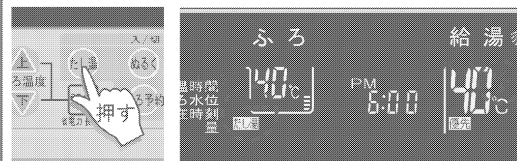


1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開けたし湯ボタンを押します



たし湯が表示されます。
給湯燃焼表示とが表示され、たし湯運転を開始します。
約24ℓの湯を入れて、かくはんしてから自動停止します。

は以下の表示を繰り返します。
 → 消灯 →

運転が終了するとたし湯表示が消え、給湯燃焼表示とも消えます。

たし湯運転中に停止するには

もう一度、たし湯ボタンを押します。
たし湯表示、給湯燃焼表示、が消灯して、たし湯運転が停止します。

！ご注意ください

- たし湯運転中は、給湯栓から出るお湯の温度がふろ設定温度になります。このとき、給湯温度の表示は変わりません。また、ふろ設定温度が高いときに、給湯、シャワー等を使うときはご注意ください。
- たし湯運転中の給湯温度は、ふろ温度となりますが給湯温度の表示は変わりません。その後、たし湯が終了すると表示の給湯温度に戻ります。このとき、給湯温度が50℃以上の場合にはチャイムが鳴り、音声ガイドが“熱い温度にセットされました。注意してください”とお知らせします。
- 給湯使用中にたし湯を開始すると、給湯温度はふろ設定温度になります。給湯設定温度に戻すには、たし湯終了後給湯を一旦停止してから、再度給湯してください。
- ふろ自動運転のお湯張り中（追いだき中）や水抜き運転中は、たし湯ボタンを使用できません。ボタンを押すと“ピーッ”と警告音が鳴ります。

お風呂が沸く時刻を予約するには

お風呂の沸き上がり時間を予約することが出来ます。
予約の設定は予約時刻の60分前までに設定してください。

予約運転を行うときは、毎回以下のことを確認してください。

- 浴槽の排水栓が閉じており、お風呂のふたがしてあることを確認。
- 現在時刻があっているかを確認。(P. 10参照)
- 予約時刻を確認。(P. 22参照)
- ふろ温度・保温時間・ふろ水位の設定を確認。(P. 15～16参照)

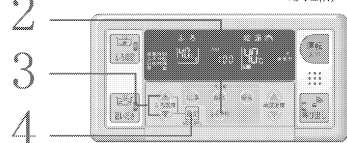


■ 予約運転を開始する お風呂の沸き上げ完了する時刻をセットし、予約を開始します。

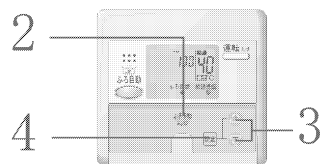
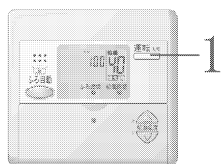
〔浴室リモコン〕 ふた閉



ふた開

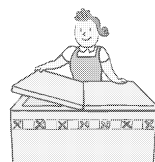


〔台所リモコン〕



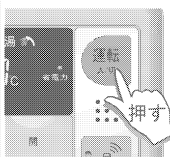
準備 浴槽の排水栓をしてふたをします

①浴槽の排水栓をします。 ②浴槽のふたをします。

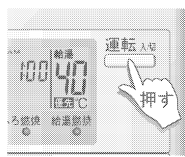


1 運転スイッチ「入」を確認します

〔浴室リモコン〕



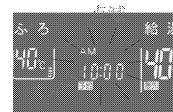
〔台所リモコン〕



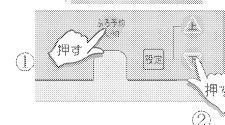
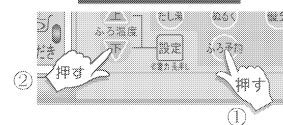
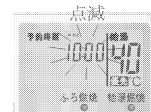
「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開けふろ予約ボタンを押し、予約時刻を設定します

〔浴室リモコン〕



〔台所リモコン〕



予約時刻表示が点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。

“予約時刻を変更する場合は、上下ボタンで入力して、設定ボタンを押してください”

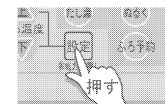
△または▽ボタンを予約時刻表示が点滅している間(約10秒間)に押してください。

△ ボタンは予約時刻が進みます。

▽ ボタンは予約時刻が戻ります。

※ボタンを押し続けると連続的に数字が変わります

〔浴室リモコン〕



〔台所リモコン〕



予約時刻の設定後、設定ボタンを押すか、5秒以上何もスイッチやボタンを押さないでいると確定となります。

音声ガイドが流れます。

“予約されました お風呂の栓はしましたか”

予約表示され、予約時刻表示が点滅から点灯に変わり約5秒後に現在時刻を表示します。

予約を取消したいときは

もう一度、ふろ予約ボタンを押します。音声ガイドが流れます。“予約、解除されました”

リモコンの予約表示が消えて予約が取消されます。

すでにお風呂沸き上がりが始まってふろ自動ランプが点灯しているときにはふろ自動スイッチを押してください。運転が停止します。



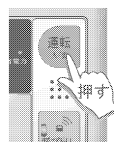
- 出荷時の予約時刻はPM6:00になっています。
- 設定時に△または▽ボタンを押さないでいると約10秒後に確定となりますが、音声ガイドは流れません。
- 予約時刻は記憶されますので毎回セットする必要はありません。
- 浴室リモコンに予約表示が表示されたあとは、運転スイッチを「切」にしても予約運転は行われず、また予約「入」かつ、運転「切」の状態でもふろ予約ボタンを押すと予約は解除されます。
- 停電や電源プラグを抜いた場合など30分以上通電が止まり、再通電したあとは工場出荷時の初期設定になります。必ず再セットをしてください。
- 予約運転の沸き上がり完了時刻は、気温により多少前後する場合があります。

省電力機能について

浴室リモコンと台所リモコンの画面表示を、何も操作しないときは表示しないようにするのが「省電力モード」です。このモードを使うことで電気の節約になります。

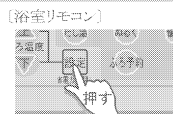
浴室リモコンで操作します。

1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け設定ボタンを5秒以上押し続けます



浴室リモコンのふたを開け、設定ボタンを5秒以上押し続けます。音声ガイドが流れます。
“省電力、セットされました”

浴室リモコン→省電力ランプが点灯します。

台所リモコン→省電力表示が表示されます。

その後、5分以上何もスイッチおよびボタン操作がなく、優先されているリモコンの給湯設定温度が50℃未満の場合

浴室リモコン→省電力ランプ以外のすべての画面表示が消えます。

台所リモコン→液晶表示画面のライトが消えます。

省電力モード中にリモコン操作で画面を表示させるには

各スイッチおよびボタンを押すと通常表示になります。(ふろ自動スイッチ・追いだしスイッチ・呼び出しスイッチは押しすと待機状態が解除され、通常表示に戻ると同時に運転状態に入ります。)

省電力モードを解除するには

一度画面を表示させ、設定ボタンを5秒以上押し続けます。省電力ランプが消灯し、省電力モードが解除されます。音声ガイドが流れます。
“省電力、解除されました”
台所リモコン、増設リモコンも同時に、省電力表示が消え、省電力モードが解除されます。

お願い ●省電力機能で画面が消えている(台所リモコンでは液晶表示画面のライトが消えている)ときに給湯・シャワーを使うときは、一度画面表示をさせて給湯温度を確認してからご使用ください。

●ふろ自動・追いだし・呼び出しスイッチ以外のボタンは、画面が消えている状態では受け付けません。ふろ自動・追いだし・呼び出しスイッチ以外のボタンを使用するときは、上記の方法で一度画面を表示させてから行ってください。

●浴室リモコンや台所リモコンで何も操作してなくても、他の場所でお湯を使っている場合、ふろ自動運転中または保温中(最長8時間)の場合は、画面表示しています。

●給湯温度が60℃以上に設定されているときには安全防止のため、省電力モードでも画面が消えません。

●省電力機能で画面が消えている(台所リモコンでは液晶表示画面のライトが消えている)とき給湯の優先が浴室リモコンにあつて台所リモコンに優先を移す場合は、次の手順で行ってください。

①台所リモコンの運転スイッチを押して液晶表示画面のライトを点灯させ、もう一度運転スイッチを押して運転「切」にします。

②再度、運転スイッチを押して運転「入」にします。台所リモコンが優先となります。

●省電力のまま運転スイッチを「切」にしても省電力モードは解除されません。

冬期の凍結予防をするには

凍結を予防するための操作について説明します。

■凍結予防装置について

通常の寒さのとき(外気温-15℃、有風5m/秒程度まで)

この機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒーターと、自動的に浴槽の水(湯)を循環して機器内や追いだし配管の凍結を予防する凍結予防装置がついています。そのため外気温-15℃程度までは、機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。

これらの装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。

寒波などで特に寒くなりそうなときは、給湯栓の水を流す方法または機器の水を抜く方法で凍結予防をしてください。

■給湯栓の水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

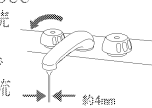
給湯側

1 運転スイッチを押してリモコンを「切」にします。



2 ガス栓を閉じます。

3 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc(牛乳びん2本ぐらい)の水を流し続けます。流量が不安定なことがありますので念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。



●給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。

ふろ側

1 凍結予防装置により自動的に浴槽の水(湯)を循環して機器内や追いだし配管の凍結を予防します。(■凍結予防装置についてをご覧ください。)

お願い ●自動凍結予防装置は電源プラグを抜くと作動しません。絶対に、電源プラグは抜かないでください。
●機器内の凍結は予防できますが、配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材で被覆してください。
●凍結予防装置で凍結予防をしているときは、浴槽の残り湯は捨てないで、そのままにしておいてください。
●次の朝、お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、運転スイッチを「入」にしてください。

長くお使いいただくために

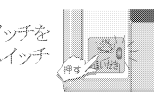
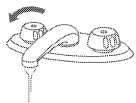
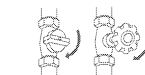
冬期の凍結予防をするには

■機器の水を抜く方法

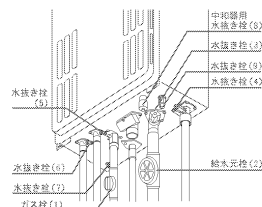
入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

△注意 ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。
機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

- 1 ガス栓 (1)、給水元栓 (2) を閉じます。
- 2 給湯側水抜き栓 (3) (4) (8) (9) を外します。
- 3 すべての給湯栓を全開にします。
- 4 浴槽の水を排水します。
- 5 浴室リモコンの運転スイッチを「入」にし、追いだしスイッチを5秒間押し続けます。
- 6 追いだし側水抜き栓 (5) (6) (7) を水が出るまでゆるめます。
- 7 必ず電源プラグを抜きます。(電源プラグを抜き忘れずと機器の故障の原因となります。)



浴槽の水が排水されていないと浴室リモコンに「032」が点滅します。再度、浴槽の水が排水されているか確認してください。

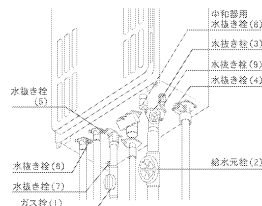


お願い ●水抜きをするとき床などに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
●水抜きをした後は浴槽へ水を流しこまないでください。

■再使用するとき

機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときには次の操作をしてください。

- 1 水抜き栓 (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) およびすべての給湯栓を閉じます。
- 2 給水元栓 (2) を開けた後、機器や配管より水漏れがないか確認してください。
また、すべての給湯栓を開けて水が出ることも確認してください。
- 3 ガス栓 (1) を開けます。

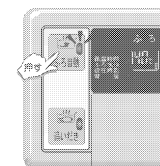
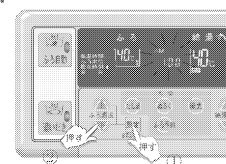


- 4 電源プラグを差し込みます。



- 6 ふろ自動運転を行い、浴槽に湯を張り水位などを確認します。

- 5 リモコンで、ふろ温度・ふろ水位・保温時間・給湯温度・現在時刻・予約時刻等を設定し直します。(P. 10～参照)

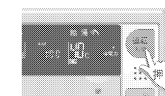
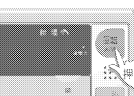


お願い ●再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉めてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

- 1 ガス栓を閉じます。
- 2 給水元栓を閉じます。
配管が破損していた場合の水漏れを防止する目的です。
- 3 運転スイッチを「切」にします。
- 4 ときどき給水元栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します。水が出てくれば使用できます。
給水元栓を開け、機器および配管から水漏れがないことを確認してください。
ガス栓を開けます。
- 5 運転スイッチを「入」にします。



お願い ●取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損すると、高額な修理費用(有料)がかかる場合があります。
●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、全ての給湯栓を閉じてから水道メーターを見るなど水漏れしていないことをご確認ください。
●機器や配管が破損し、床や壁などを濡らして生じる損害はお客様の責任となります。

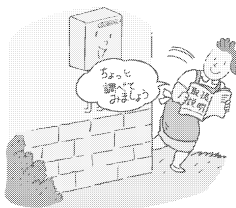
点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント（月1回程度）

次の7つのポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭いがしませんか？
- 3 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？
- 5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありますか？
- 6 浴槽に循環口フィルターがついていますか？
- 7 給気口・排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口が塞がっていますか？

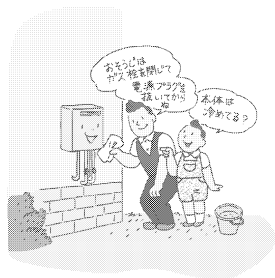
給気口・排気口が塞がっていると、機器が不完全燃焼することがあります。
積雪時には給気口・排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口をふさぐおそれがあるときは、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。



■お手入れのしかた（月1回程度）

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
変形する場合があります。



■定期点検のおすすめ（有料）

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

⚠ 警告 ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。

❗ ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター（金網）を掃除してください。
- 台所リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

🙏 お願い

- 洗剤およびシンナー、ベンジンなどは拭かないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。



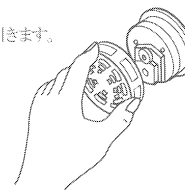
分解禁止

■循環口フィルターの掃除（こまめに掃除）

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまるものです。循環口フィルターの汚れがひどいと、循環量が弱まったり、追いだきができなくなります。

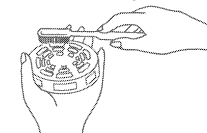
循環口フィルターの外し方

循環口フィルターを
左に回して手前に引きます。



循環口フィルターを掃除する

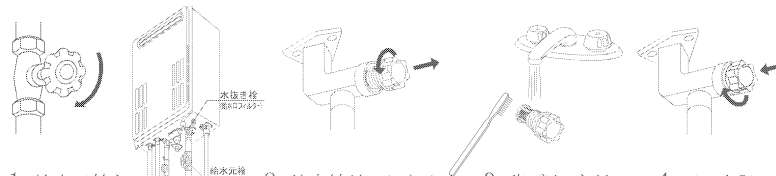
歯ブラシなどで洗います。



掃除後、循環口フィルターを
元のように取り付けます。

■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターがつまるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。（特に、新築や井戸ポンプの場合）



- 1 給水元栓を閉じる。
- 2 給水接続口にある水抜き栓を外す。
- 3 歯ブラシなどで洗う。
- 4 元のように取り付ける。

■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後はガス栓を開いて、運転スイッチを「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・音を感じられたときは、使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

🙏 お願い

- 循環口フィルターは必ず取り付けてご使用ください。
循環口フィルターを付けずに運転すると、ポンプ等の故障の原因となります。
- 給水口フィルターを外すと水が出ます。
水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水をうけてください。
- 再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

長く使いたくために

故障かな?と思ったら

こんなとき	ここを調べてください
リモコンの画面に 表示が出ない	省電力の待機中ではありませんか (→23ページ) 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→10ページ) 停電していませんか (→5ページ)
アラーム番号「032」「252」「542」 が点滅し、動作しない	給水元栓が全開になっていますか (→10ページ) 断水していませんか おふろの排水栓はしっかりはまっていますか (→13ページ) 追いだきスイッチを5秒以上長押ししましたか (→18ページ)
給湯燃焼表示 ^④ が表示しない (台所リモコンは、給湯燃焼ランプが 点灯しない) お湯が出ない	ガス栓が全開になっていますか (→10ページ) 給水元栓が全開になっていますか (→10ページ) 断水していませんか 給湯栓が十分開いていますか (→11ページ) 給水口フィルターがつまっていますか (→28ページ)
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	給湯栓が十分開いていますか (→11ページ) 温度調節は適切ですか (→11ページ) 混合水栓やサーモミキシングバルブを使用し、高温 のお湯が出ない場合は、リモコンの給湯温度を60℃ にセットしてください
ふろ燃焼表示 ^④ が表示しない (台所リモコンは、ふろ燃焼ランプが 点灯しない)	ガス栓が全開になっていますか (→10ページ) 浴槽に水が入っていますか
おふろ使用中に消火した	ガス栓が全開になっていますか (→10ページ) 設定温度が低過ぎませんか (→15ページ)
浴槽の水があつい(ぬるい)	ふろ温度のセットは適切ですか (→15ページ)
浴槽の水が少ない(多い)	ふろ水位のセットは適切ですか (→16ページ)

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください。

■こんな時は故障ではありません

現象	点検項目
給湯栓を絞りすぎて水になった	この機器は通水量が約3.5ℓ/分以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき 低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違って、まったく無害なものです。
浴槽、洗面台が青く見える	湯ア力が残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがあります。掃除はこまめに行ってください。
寒い日排気口から白い湯気が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。熱効率が高いため、白い湯気が出やすくなっています。
冬期など寒いとき追いだきの ポンプが自動的に動く	凍結破損予防のため、ポンプが自動運転を行います。
給湯栓を開いてもすぐ にお湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
出湯停止後しばらくファンの 回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。
ふろ自動スイッチを押した後 お湯入れがときどき停止する	浴槽の中に正確にお湯入れをするための動作です。
運転終了後もしばらく ポンプが回る	「ぬるく」「ふろ自動」「追いだき」「たし湯」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。
時計表示が合っていない	30分以上の停電後、再通電すると表示画面がAM1:00になります。なお、ふろ水位・温度設定・予約時刻・保温時間等も初期状態に戻りますので再設定してください。
保温中ときどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を検知するためおよそ15～30分間隔で回ります。
ときどき水抜き栓から水が出る	水抜き栓がしっかり閉じていないと水漏れします。給湯側の水抜き栓は、過圧防止安全装置をかねています。圧力を逃すために湯(水)が出る場合があります。
給湯栓を開けたとき お湯の量が変動する	湯温を安定させるために自動的に湯量調整しています。すぐに湯量は安定します。
給湯使用中にお湯の量が 変化する	お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したり、「ぬるく」「ふろ自動」「追いだき」「たし湯」運転をすると、お湯の量が減る場合があります。

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときは
お買い上げの販売店または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

長く使いたくために

故障かな?と思ったら

- 不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し、自動的に運転が停止します。
- アラーム番号が表示点滅したときは、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。そのときは、表示されているアラーム番号もお知らせください。

アラーム番号	内 容	処置方法	使用状態	アラーム番号	内 容	処置方法	使用状態
011	給湯60分以上連続使用	給湯栓を閉じてリセット	給湯・自動・たし湯	422	注湯量センサー異常		自動・ぬるく・たし湯
020	水栓応答ガス配管漏れ	修理を依頼する	過電時	510	元ガス電磁弁故障		給湯・自動・たし湯・ぬいだし
032	浴槽排水忘れ	浴槽の排水栓を確実リセット	機器排水	511	給湯ガス電磁弁故障		給湯・自動・たし湯・ぬいだし
101	自己診断機能カダウン	修理を依頼する	給湯・自動・たし湯	512	湯いたきガス電磁弁故障		給湯・自動・ぬいだし
111	給湯側点火不良		給湯・自動・たし湯	562	注湯量センサー異常		給湯・自動・たし湯
115	ふろ側点火不良		給湯・ぬいだし	610	フューザー漏れ故障		給湯・自動・たし湯
121	給湯側点火・給湯側異常	ガス栓確認後リセット	給湯・自動・たし湯	700	省エネセンサー故障		給湯・自動・たし湯・ぬいだし
122	ふろ側点火不良		給湯・ぬいだし	709	ガス圧制御異常		給湯・自動・たし湯・ぬいだし
140	安全装置動作・漏れ検知		給湯・自動・たし湯・ぬいだし	711	給湯側ガス逆流不良		給湯・自動・たし湯
252	ふろ水流スワッチ異常		給湯・ぬいだし	712	ふろ側ガス逆流不良		給湯・ぬいだし
291	中継器異常		給湯・自動・たし湯	721	給湯側ガス逆流不良		給湯・自動・たし湯
302	ふろ入・出サニタリ断線		給湯・ぬいだし	722	ふろ側ガス逆流不良		給湯・ぬいだし
311	出湯量センサー断線		給湯・自動・たし湯	740	台所リモコン通信異常		給湯・自動・たし湯
312	ふろ入サニタリ断線	修理を依頼する	給湯・ぬいだし	750	浴室・風呂リモコン通信異常		給湯・自動・たし湯
321	暖房センサーミス動作		給湯・自動・たし湯	801	給湯側ガス逆流不良		給湯・自動・たし湯
324	ふろ出サニタリ断線		給湯・ぬいだし	931	半導体温度センサー異常		給湯・自動・たし湯
331	浴室温度センサー断線		給湯・自動・たし湯	931	中継器異常		給湯・自動・たし湯
451	半導体温度センサー断線		給湯・自動・たし湯	991	自己診断機能異常		給湯・自動・たし湯
991	サーモカップル異常		給湯・自動・たし湯				

〔リセット操作〕運転スイッチを一度「切」にし、3秒以上経過してから、運転スイッチを「入」にする。

番号によっては、給湯やふろ温度表示部に、補足の番号が出ることがあります。ご連絡のときは、アラーム番号とあわせてお知らせください。給湯側の場合は、給湯温度表示部にアラーム番号と同時に点滅します。ふろ側の場合はふろ温度表示部にアラーム番号と同時に点滅します。台所リモコンは簡易表示のため、アラーム番号のみを表示点滅します。



■こんな場合には安全装置が働きます ()はアラーム番号

- 寒いとき、機器の電気ヒーターが働いて機器内の凍結を防止します。……凍結予防装置
- バーナーが正常に燃焼しないとき作動し、ガスが自動的に停止します。(121、122)……立消え安全装置
- 電気回路に漏電が生じた場合に電気を停止します。……漏電安全装置
- 給水されていないのに燃焼している場合にガスを止めます。(721、722) 残火安全装置
- 機器の温度が異常に上昇した場合にガスを止めます。(140)……過熱防止装置
- 機器内の水圧が異常に上昇した場合に機器の損傷を防止します。……過圧防止安全装置

❗ご注意ください

- “291”“921”“931”は中和器に関するアラーム番号ですので“291”“921”“931”が出ましたら、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- “921”は中和器交換警告なので中和器の交換をしてください。機器はしばらく使用できますが、リモコンのアラームは点滅したままです。点滅時は、リモコンの給湯温度が表示されませんので湯温を確かめてから使用してください。
- “931”が表示されますと機器は使用できません。中和器の交換をしてください。
- アラーム番号“101”のときは自己診断機能により給湯能力が下がります。(24号から約12号に)使用できますが十分な給湯能力が出ない状態ですので修理を依頼してください。(自己診断機能とは、機器のガスの燃焼が異常になった場合にその燃焼を正常にしようとする機能をいいます。自己診断機能が働いても燃焼が正常にならない場合は自動的に運転を停止します。)



31

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 29～31ページの「故障かな?と思ったら」の項を確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡してください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1)氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2)品名 131-0001型
(ガスの種類例えば13A)
 - (3)現象(故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく)
 - (4)訪問ご希望日

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整、改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きくなりすぎないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

保証について

- このガスふろ給湯器には保証書がついています。
- 必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失しますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

- (1) ガス栓を閉じます。
- (2) 給水元栓を閉じます。
- (3) 機器の水抜きを行います。
(水抜き方法は、25ページを参照してください)
- (4) 電源プラグを抜きます。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後10年です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

長
お
直
い
た
く
な
い

32

仕様一覧

〔仕様表〕

項目	内容
品名	131-0001型
型式	GX-S245AW
外形寸法(mm)/質量(kg)	幅470×奥行290×高さ600/34
種給湯方式	先止め式
類設置方式	屋外壁掛形
点火方式	AC100V連続放電式(ダイレクト着火)
水圧	80~500kPa(0.8~5.0kgf/cm ²)
最低作動水圧	10kPa(0.1kgf/cm ²)
接ガス	20A(R3/4オネジ)
給水・給湯	20A(R3/4オネジ)
追いだし往・戻	15A(G1/2オネジ)
排水	15A(R1/2オネジ)
電源	AC100V(50/60Hz)
リモコン側	24V以下
電気関係	6W(省電力中3W)
消費電力	195W
同時使用	電気ヒーター給湯側145W追いだし側10W
凍結予防作動時	同時280Wポンプ運転130W
電源コード	VCT(2心)機外長2.0m
安全装置	ファン回転検出装置(回転検出方式) 立消え安全装置(フレイムロッド方式) 過圧防止安全装置(スプリング式) 空だき安全装置(バイメタル式) 空だき防止装置(水量センサー・水流スイッチ) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 漏電安全装置(漏電リレー) 誤導保護装置(サーミアブソーバー) 凍結予防装置(電気ヒーター・ポンプ運転) 過電流安全装置(ガラス管ヒューズ)

〔能力表〕

使用ガス	1時間あたりのガス消費量kW{kcal/h}			出湯能力(最大)ℓ/分		ガス接続
	給湯・ふろ同時使用	給湯(最大)	ふろ	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
都市ガス 13A	55.8{48.000}	44.2{38.000}	11.6{10.000}	24.0	15.0	20A (R3/4)
LPGガス	56.0{4.00kg/h}	44.4{3.17kg/h}	11.6{0.83kg/h}	24.0	15.0	

◎ ガス:JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。

◎ 出湯能力は、水圧200kPa(2kgf/cm²)のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎ 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

メモ